



平成 28 年 3 月 30 日

各位

会社名 株式会社 ラック
(JASDAQ・コード番号：3857)
代表者名 代表取締役社長 高梨輝彦
問合せ先 取締役 常務執行役員 経営企画管理室長
小林義明
電 話 03-6757-0107

業績予想の修正及び配当予想の修正（増配）に関するお知らせ

当社は、本日開催の取締役会において、平成 27 年 5 月 12 日に公表した平成 28 年 3 月期の連結業績予想及び 1 株当たり配当予想を下記のとおり修正いたしましたのでお知らせいたします。

記

1. 連結業績予想の修正

(1) 修正内容

(単位：百万円)

	売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に 帰属する 当期純利益	1 株当たり 当期純利益
前回発表予想 (A) (平成 27 年 5 月 12 日)	35,770	2,300	2,250	1,320	円 銭 52.02
今回修正予想 (B)	37,000	2,340	2,290	1,345	円 銭 53.01
増減額 (B-A)	1,230	40	40	25	—
増減率	3.4%	1.7%	1.8%	1.9%	—
(ご参考) 前期実績 (平成 27 年 3 月期通期)	32,850	2,328	2,264	1,255	円 銭 49.48

注) 上記に記載しました予想数値は、本資料発表日現在において入手可能な情報に基づき作成しており、実際の業績は、今後の様々な要因によって予想数値と異なる可能性があります。

(2) 修正の理由

セキュリティソリューションサービス事業（以下、SSS 事業という。）は、標的型攻撃に代表されるサイバー攻撃による事件が相次ぐなか、サイバーセキュリティ対策への需要が引き続き拡大し、売上が予想を上回る見通しです。また、システムインテグレーションサービス事業（以下、SIS 事業という。）は、主力の金融機関向けに加え公共など非金融向けに開発サービスや IT 保守サービスの受注が好調に推移し、売上が予想を上回る見通しです。このため、売上高は 370 億（前回予想比 12 億 30 百万円の増加）となる見通しです。

利益面では、SSS 事業は予想をやや上回り、SIS 事業は開発サービスが好調に推移するも、新規事業進出のために設立した子会社の立ち上がりの遅れが影響し予想を下回る見通しです。また、経

費低減に努め一般管理費が予想を下回り、営業利益は23億40百万円(前回予想比40百万円の増加)、経常利益は22億90百万円(前回予想比40百万円の増加)となる見通しです。当期純利益は、経常利益の増加に加え、投資有価証券売却益57百万円を特別利益に計上したことにより、13億45百万円(同25百万円の増加)となる見通しです。

2. 配当予想の修正

(1) 修正の内容

	年 間 配 当 金		
	第 2 四 半 期 末	期 末	合 計
	円 銭	円 銭	円 銭
前 回 予 想 (平成27年5月12日発表)	7.00	9.00	16.00
今 回 修 正 予 想		11.00	18.00
当 期 実 績	7.00		
前 期 実 績 (平成27年3月期)	5.00	11.00	16.00

(2) 修正の理由

当社は、当社株式を長期的かつ安定的に保有していただくため、継続的に安定的な配当水準を維持することを配当政策の基本とし、中長期的な視点に立った投資やキャッシュ・フローの状況を勘案のうえ、利益配分を行っております。目標とする指標はDOE(株式資本配当率)5%としております。

平成28年3月期の期末配当金の予想につきましては、上記配当方針に基づき足元の好調な業績に加え、平成27年5月12日に公表した中期経営計画「TRY 2021 ステージ 1」の順調な進捗を踏まえ、2円増配して11円(DOE 5.6%)に修正することとさせていただきます。

なお、期末配当につきましては、平成28年6月21日開催予定の第9回定時株主総会に付議する予定であります。

以上